

10 月度 NBMF のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

NBCI ではナノテクノロジーに関する技術シーズと市場におけるニーズのマッチング推進のため「ナノテクビジネスマッチングフォーラム (NBMF)」を開催しております。以下に 10 月度 NBMF をご案内いたします。参加申し込みは、nbci@nbci.jp へメール願います。

敬具

記

- 日時：平成 17 年 10 月 17 日 (月) 14:00~18:00
- 場所：学士会館 (〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28)
- 主催：NBCI 共催：イノベーションエンジン(株)(株)シナジック、後援：関東経済産業局
- 参加費：2,000 円

(1) 基調講演 信州大学教授 遠藤守信 様

講演テーマ：CNT の応用と標準化：今後 3 年間に出現する応用技術とその製品

講演要旨：今、カーボンナノチューブの研究は、ナノサイズの鉄微粒子を利用した触媒 CVD 法により、単層、2 層、多層 CNT が選択的に成長できるようになってきており、カイラル構造制御に発展すると期待されている。CCVD 法によるカーボンナノチューブの大量合成もいよいよ本格化し新たな応用段階に入っている。ここではかかるカーボンナノチューブの基礎と応用について、最近の成果と将来の可能性をまじえて概説する。

(2) 企業発表

(有)ナノ炭素研究所 社長 大澤映二 様

講演テーマ：世界最小ダイヤモンドの量産 - さて何に使う？

講演要旨：爆発法ナノダイヤモンド凝膠体の解砕に成功してから 3 年経つが、一向に用途が見つからなかった。また汎用ナノ分散技術がないために組成物を作ることも出来なかった。ところがこの 2 大難問が同時に解決しそうである。予備実験の結果と見通しについて述べる。

(株)物産ナノテク研究所 技術・経営企画室 次長 鶴岡秀志 様

講演テーマ：「CNT 応用技術の現状」

講演要旨：カーボンナノチューブ (CNT) は研究室での興味対象を越えて商業化の時を迎えた。

既にいくつかの CNT 利用工業製品が上市されているが、原料コモディティとして汎用されるには課題が残されている。本講演では、下記の項目について現状と課題を議論する。

- ・品質を確定するための CNT の物性及びその測定方法
- ・100kg 以上の供給能力を持つ企業
- ・現在及び近未来の応用例
- ・CNT 商業化における標準化問題

ナノフロンティア(株) 代表取締役社長 津田 薫 様

講演テーマ：「CNT の分散・切断技術とその応用について」

講演要旨：カーボンナノチューブの実用化には、その絡まり・塊をほぐし、分散させる技術が不可欠である。ナノフロンティアでは独自の技術で用途に応じた状態に分散・切断させる技術を確立した。その紹介と、応用技術開発、今後の展開について述べる。

(3) 交流会

以上